

バックアップ・システム構築

高速バックアップの構築



基幹システム



高速バックアップ装置

ファイル内の更新部分（ブロック単位）のみをバックアップ対象とし、随時バックアップサーバに転送しています。

従来までのバックアップ指示のタイミングでのデータ採取方法とは根本的に異なる仕組みにより、バックアップが行われます。

スナップショット作成指示により、データ整合点が作成されバックアップデータを短時間で完成させます。

この時間短縮により、従来のバックアップに相当するデータ保護を1日に何度も実施できます。

また、スナップショット（バックアップ）作成中にデータ更新を行っても、データ整合性を確保する仕組みなので問題はありません。

ディザスタリカバリ・システムの構築



リカバリ・システム



リモート・コピー

バックアップデータを、遠隔地の別サーバにネットワーク経由でレプリケーションすることで、災害対策（ディザスタ・リカバリ）が実現できます。

また、バックアップデータのスナップショットを用いることで、通常の業務を停止せず、バックアップの採取とデータの確認を行うことができるので、直前データでの災害対策が行えます。